

ふるさと通信

HomeTown Memuro

No.42 6月発行



▲ビジョンマップを持った魅力創造課職員

新設 魅力創造課



前号でもお知らせしましたが、令和3年4月1日、機構改革により「魅力創造課」が新設され、ふるさと会の担当となりました。これからどうぞよろしくお願いいたします！

＼どんなことをする課なの！？／

シティプロモーション、新嵐山改革、郷土愛醸成、町内会活動支援、ふるさと納税そしてふるさと会などの業務を担当します。

魅力あふれる芽室町を町内、町外へどんどん発信してまいります！



町のビジョンマップ作成

芽室町が20年後にありたい姿を見える化した地図、ビジョンマップを作成しました。町民や役場職員で構成された「芽室魅力発見隊」によるワークショップを開き、芽室の「強み」「売り」を知り、芽室の魅力や未来を話し合いました。4回にわたるワークショップにより集まった意見をもとに、帯広のイラストレーター小夜小町さんが1枚の絵に仕上げました。イラストにより誰が見ても理解することができるユニバーサルデザインとなっており、芽室駅を中心としたイキイキとした「人」が各所にいるのが特徴です。

町の目指す姿を可視化することで今後の課題を見つけやすくなるほか、時代や状況の変化、新たな目標が追加されれば、書き換えを行い常に進化し続けるマップとなっています。

「ここにこれがあるといい」「もっとこうした方がいい」などご意見お待ちしております！



芽室魅力発見隊

ワークショップの様子



とちぎ熱中小学校芽室サテライト校



とちぎ熱中小学校って？



熱中小学校は、大人が「もう一度7歳の目で世界を・・・」というコンセプトをもとに、全国各地で実施されています。新しい何かを始めたい人々が、集い、学び、高め合い、新たな一歩を踏み出すための出会いと学びを提供する「大人の学び舎」です。

十勝全体をフィールドとしたとちぎ熱中小学校の第1回となる芽室サテライト校が、5月15日（土）に実施されました。

新型コロナウイルスの影響により、急遽完全オンラインでの開催となりましたが、100名以上の生徒が参加してくださいました。SoupStockTokyoのスープレシピ考案者であるスープの女王 桑折敦子氏による「スープで世界を旅する」授業のほか、地元講師のなまら十勝野小山氏、メモロピーナッツ藤井氏、めむろプランニング川上氏による事業報告が行われました。熱い講師による熱い講話は、画面越しでも熱気のある授業となりました。

7月10日（土）にも開催を予定しておりますので、興味のある方はぜひご連絡ください。



トークセッションの様子



左から小山氏・桑折氏・長澤校長
藤井氏・川上氏

新嵐山スカイパークグリーンシーズン始まる



芽室町を代表する観光地である新嵐山スカイパークのグリーンシーズンが4月29日よりスタートしました。今年度よりエリア内を大幅に改修し、大人から子どもまで楽しめるリユラルイン（農村地帯の宿）へと変貌を遂げています。

風に揺られながら大自然を感じることができるハンモックや大型犬、小型犬とエリアが分かれているドックランは、平日休日問わず大人気です。

BBQ テラス・焚火ラウンジでは、火を囲いにぎやかに BBQ ができるほか、焚火が醸し出す落ち着いた空間でお食事をお楽しみいただけます。

芽室町にしかない地域価値が体感できるリユラルイン（農村地帯の宿）ザ・スカイパーク 今までとは一味違う、生まれ変わった新嵐山の夏をお楽しみください。



開放的な BBQ テラス



焚火ラウンジ・木で囲われたドックラン



柏の木はいま・・・

芽室公園の一角にそびえたつ5本の柏の木。今から約4年前、東京芽室会創立30周年を記念して植樹いただいたものです。今年も立派な葉をつけ、少しずつ大きく太くなっていく姿に自然の力強い生命を感じます。

まわりの柏の木と比べれば樹齢15年とまだまだ若いですが、これからぐんぐんと成長していくことでしょう。芽室町を象徴する柏の木を私たちはずっと守り続けていかなければいけません。

5月に東京芽室会の会員さんが、柏の木の様子を見に来られる予定でしたが、今般におけるコロナウイルスの状況によりやむを得なく断念。皆さんと柏の木の前で再会できることを心待ちにしています。



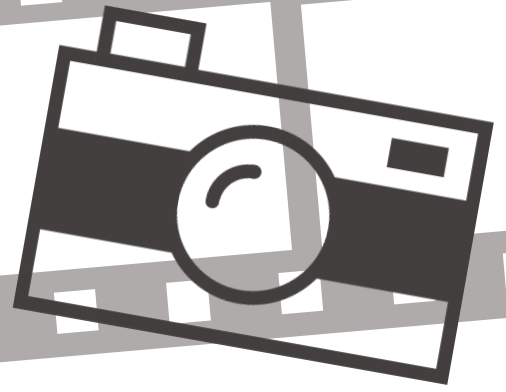
◀ 現在の柏



▼ 植樹祭集合写真



懐かしき故郷の歴史をお届け
なんとなく、懐かしいにおいがする気がする
あの頃を想い、いま、胸があつくなる



<ふれあい交流館>

役場庁舎南側に位置するふれあい交流館、かつては「町民児童会館」として住民に広く利用されました。「町民児童会館」が建設されたのは、今からさかのぼること約60年前の昭和37年。町民からの要望の声も数多く、町内初の本格的な集会の場として、平成の初期まで結婚祝賀会や町民集会、文化展など数多くの行事が行われました。



▲ 創立当時の町民児童会館

平成12年頃、介護保険制度の導入を機に町民児童会館は「ふれあい交流館」へと名称を変更しました。介護保険で認定されなかった高齢者を対象とした生きがいデイサービスを実施する場、高齢者同士が自由に集まって交流する場などとして、今日まで多くの町民から長きにわたり利用されてきたふれあい交流館ですが、役場新庁舎建設に伴い、令和3年5月末をもって60年の歴史に幕を下ろしました。



◀ 文化展開催。心豊かな創造性を高める場として多くの町民が来場



◀ 会館で行われた成人式の様子。晴着姿の新成人が一斉に集う



◀ 今も残る当時使用していた「結婚祝賀会場」看板



▲ 現在のふれあい交流館

あなたの“想い” とどけませんか？

FURUSATO

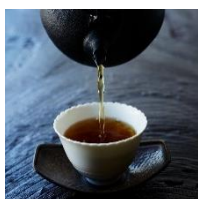
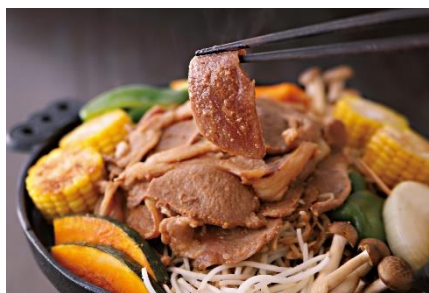
生まれ育った「ふるさと」の力になりたい

自分とかかわりの深い地域を応援したい

そんなあなたの想いがまちづくりへとつながる。

ご寄附いただいた方へ芽室町の特産品をお届けします。

暖かいご支援お待ちしております。



ふるさと納税



「自分を育ててくれた「ふるさと」に自分の意思でいくらかでも納税できる制度があってもよいのではないか」そんな問題提起から始まったふるさと納税制度。

芽室町では、いただいた寄附へ感謝の気落ちを込めて特産品をお送りしています。農業王国ならではの旬の農産物で、北海道芽室町の味覚を堪能ください。

＜芽室町自慢の返礼品をご紹介します＞



とうもろこし

北海道十勝・芽室町のとうもろこしは生産量日本一。鮮度抜群！ぷちぷちとした触感がたまりません！もぎたてのおいしさをご賞味あれ！



えだまめ

実が大きく歯ごたえ抜群。一度食べたらやめられない止まらない。気づいたら1袋食べちゃったなんてことも・・・



明治北海道十勝チーズ

明治ならではの「おいしさへのこだわり」が生み出した「うまみ乳酸菌熟成」により、口どけの良い日本人好みのチーズとなっています。

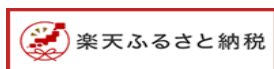


小久保のジンギスカン

秘伝のタレで柔らかい仔羊肉を漬け込みました。玉ねぎやピーマンなどの野菜と一緒に。タレうどんを煮込んで食べるのもまた、やみつきに。



ふるさと納税は、下記サイトからお申しただけのほか、カタログをご覧いただいてのお申込も可能です。カタログ送付希望の方は魅力創造課魅力発信係までお気軽にご連絡ください。



＜発行者＞

芽室町役場魅力創造課魅力創造係

TEL:0155-62-9736 / FAX:0155-62-4599